



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月6日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東
コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 西村 信宏 TEL 043-243-2111
配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満、小数点第1位未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	15,821	13.2	3,860	36.1	2,863	32.5
2025年3月期第1四半期	13,964	△8.1	2,835	△18.5	2,160	△9.4

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 4,664百万円（－％） 2025年3月期第1四半期 △921百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	49.97	35.74
2025年3月期第1四半期	37.49	23.42

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	3,326,244	178,100	5.2
2025年3月期	3,246,846	174,790	5.2

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 173,258百万円 2025年3月期 169,979百万円

（注）「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

（注）上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、P.3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	5,500	△7.7	3,800	△6.2	66.33
通期	10,800	1.0	7,500	0.5	117.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	62,222,045株	2025年3月期	62,222,045株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	4,834,396株	2025年3月期	4,932,825株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	57,300,128株	2025年3月期1Q	57,262,813株

（注）当行は株式給付信託制度を導入しており、当該信託が所有する当行株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		—	—	104.00	104.00

第2回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	300.00	300.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		—	—	300.00	300.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	900.00	900.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		—	—	900.00	900.00

第2回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	9,000.00	9,000.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		—	—	9,000.00	9,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 5
(セグメント情報等の注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
3. 2026年3月期第1四半期決算 補足説明資料	P. 7
(1) 損益の状況【単体】	P. 7
(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】	P. 8
(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】	P. 8
(4) 自己資本比率（国内基準）【単体】【連結】	P. 9
(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、人手不足や物価高の影響を受けつつも、好調な企業業績による賃上げや価格転嫁を背景に、緩やかな回復基調にあります。

当行が営業基盤とする千葉県経済においても、個人消費の回復が見られ、住宅建設、企業の設備投資、企業景況感などは一部に弱さがみられるものの、全体的には緩やかに持ち直しております。

2025年4月、当行は当行グループのパーパス「いちばん近くで、いちばん先まで。千のしあわせを、興そう。」を新たに制定いたしました。また、パーパスや長期経営ビジョンの実現に向けた具体的な戦略として、新たな中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2028 ～ Path to Evolution ～」をスタートさせました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は次のようになっております。

経常収益は、前年同期比18億57百万円増加の158億21百万円となりました。経常費用は同8億32百万円増加の119億61百万円となっております。

これらにより、経常利益は前年同期比10億24百万円増加の38億60百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同7億2百万円増加の28億63百万円となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比793億円増加の3兆3,262億円となりました。また、純資産は同33億円増加の1,781億円となっております。

主要勘定の残高は次のとおりです。預金は前連結会計年度末比754億円増加の2兆9,524億円となりました。また、貸出金は同125億円増加の2兆4,284億円、有価証券は同141億円増加の5,362億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	244,521	298,387
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	115	141
有価証券	522,089	536,284
貸出金	2,415,859	2,428,400
外国為替	4,290	4,234
その他資産	38,795	36,320
有形固定資産	18,785	18,489
無形固定資産	2,642	2,484
退職給付に係る資産	759	829
繰延税金資産	59	64
支払承諾見返	5,251	6,810
貸倒引当金	△6,422	△6,300
資産の部合計	3,246,846	3,326,244
負債の部		
預金	2,877,019	2,952,449
譲渡性預金	131,000	122,000
借入金	35,810	35,649
外国為替	152	71
その他負債	20,777	28,224
退職給付に係る負債	114	117
役員退職慰労引当金	19	20
株式給付引当金	313	320
睡眠預金払戻損失引当金	27	24
繰延税金負債	1,570	2,455
支払承諾	5,251	6,810
負債の部合計	3,072,056	3,148,143
純資産の部		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	6,971	6,971
利益剰余金	92,183	93,669
自己株式	△2,326	△2,284
株主資本合計	158,948	160,476
その他有価証券評価差額金	8,345	10,110
繰延ヘッジ損益	578	565
退職給付に係る調整累計額	2,107	2,106
その他の包括利益累計額合計	11,031	12,781
新株予約権	173	154
非支配株主持分	4,636	4,687
純資産の部合計	174,790	178,100
負債及び純資産の部合計	3,246,846	3,326,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	13,964	15,821
資金運用収益	7,752	8,938
(うち貸出金利息)	5,618	6,962
(うち有価証券利息配当金)	1,892	1,601
役務取引等収益	3,183	2,701
その他業務収益	81	136
その他経常収益	2,946	4,044
経常費用	11,128	11,961
資金調達費用	273	1,468
(うち預金利息)	146	1,232
役務取引等費用	1,122	1,283
その他業務費用	938	145
営業経費	6,535	6,681
その他経常費用	2,258	2,381
経常利益	2,835	3,860
特別利益	—	14
固定資産処分益	—	14
特別損失	0	1
固定資産処分損	0	1
税金等調整前四半期純利益	2,835	3,873
法人税、住民税及び事業税	293	892
法人税等調整額	352	77
法人税等合計	645	969
四半期純利益	2,190	2,904
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,160	2,863

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,190	2,904
その他の包括利益	△3,112	1,759
その他有価証券評価差額金	△3,256	1,774
繰延ヘッジ損益	169	△13
退職給付に係る調整額	△25	△1
四半期包括利益	△921	4,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△836	4,613
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	信用保証・クレジット カード業	計				
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	11,480	2,150	264	13,895	68	13,964	—	13,964
セグメント間の内 部経常収益	518	7	143	669	233	903	△903	—
計	11,999	2,157	408	14,565	302	14,867	△903	13,964
セグメント利益又は 損失(△)	3,076	64	227	3,368	△30	3,338	△503	2,835

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務及び地域商社・農業・コンサルティング業務を含んでおります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 2024年4月1日付で新規設立し、連結子会社とした株式会社ちばくは、「その他」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	13,559	2,191	15,750	70	15,821	—	15,821
セグメント間の内 部経常収益	13	5	18	242	261	△261	—
計	13,572	2,197	15,769	313	16,083	△261	15,821
セグメント利益又は 損失（△）	3,815	67	3,883	△22	3,860	△0	3,860

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務、地域商社・農業・コンサルティング業務、投資事業組合及び投資事業有限責任組合の運営・管理業務を含んでおります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当行グループの報告セグメントは、従来、当行が営む「銀行業」、千葉総合リース株式会社が営む「リース業」及びちば興銀カードサービス株式会社が営む「信用保証・クレジットカード業」を報告セグメントとしておりましたが、ちば興銀カードサービス株式会社については、2024年7月1日付で、当行の保有する同社の全株式を譲渡したことにより連結の範囲から除外しているため、当第1四半期連結会計期間より「銀行業」及び「リース業」を報告セグメントとしております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	524百万円	504百万円

3. 2026年3月期第1四半期決算 補足説明資料

(1) 損益の状況【単体】

【業務粗利益等】

業務粗利益は、前年度計上した子会社配当金がなくなったことにより有価証券利息配当金が減少したものの、貸出金利息の増加や国債等債券関係損益の改善等の要因により、前年同期比49百万円増加しました。業務純益は人件費および物件費等の経費が同2億67百万円増加したことにより、同2億17百万円減少となりました。また、業務純益から国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は同10億82百万円減少の22億28百万円となりました。

【経常利益】

減益要因である不良債権処理額が前年同期比79百万円増加した一方、増益要因となる株式等関係損益が同11億43百万円増加したこと等により、臨時損益は9億55百万円増加しました。この結果、経常利益は同7億38百万円増加の38億15百万円となりました。なお、2026年3月期第2四半期業績予想（経常利益54億円）に対する進捗率は70.6%となっております。

【四半期純利益】

四半期純利益は、前年同期比4億67百万円増加の28億71百万円となりました。なお、2026年3月期第2四半期業績予想（中間純利益39億円）に対する進捗率は73.6%となっております。

(単位:百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	8,879	8,830	49
(除く国債等債券関係損益)	(8,927)	(9,742)	(△815)
資金利益	7,486	7,970	△484
役務取引等利益	1,402	1,716	△314
その他業務利益	△8	△857	848
経費 (除く臨時処理分) (△)	6,698	6,431	267
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	2,181	2,398	△217
コア業務純益	2,228	3,311	△1,082
除く投資信託解約損益	2,206	2,621	△414
一般貸倒引当金繰入額 (△)	(143)	(25)	(117)
業務純益	2,181	2,398	△217
国債等債券関係損益	△47	△912	865
臨時損益	1,634	678	955
不良債権処理額 ① (△)	134	54	79
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	(△195)	(△38)	(△156)
貸倒引当金戻入益 ②	51	13	38
償却債権取立益 ③	58	142	△84
株式等関係損益	1,633	490	1,143
経常利益	3,815	3,076	738
特別損益	13	△0	14
税引前四半期純利益	3,829	3,076	752
法人税等合計 (△)	957	672	284
四半期純利益	2,871	2,403	467
貸倒償却引当費用 (①－②) (△)	82	41	41
実質信用コスト (①－②－③) (△)	23	△101	125

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）－国債等債券関係損益

3. 2026年3月期第1四半期および2025年3月期第1四半期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】

① 預金、投資信託等預り資産

預金残高は前年同期比199億円増加の2兆9,541億円となりました。このうち、個人預金は同57億円減少の2兆1,633億円となっております。

預り資産残高では、投資信託等の残高が同113億円増加、年金保険等の残高が同227億円増加しております。

	(単位:億円)			(参考)	(単位:億円)
	2025年6月末	2024年6月末	前年同期比		2025年3月末
預金	29,541	29,341	199		28,795
うち個人預金	21,633	21,691	△57		21,478
譲渡性預金	1,220	1,364	△144		1,310
公共債	127	108	18		119
投資信託等	2,018	1,905	113		1,868
年金保険等	2,737	2,510	227		2,660

② 貸出金

貸出金残高は、中小企業等貸出を中心に増加を図り、前年同期比531億円増加の2兆4,321億円となりました。

	(単位:億円)			(参考)	(単位:億円)
	2025年6月末	2024年6月末	前年同期比		2025年3月末
貸出金	24,321	23,790	531		24,203
うち住宅ローン	7,693	7,928	△235		7,742
中小企業等貸出	21,384	21,144	239		21,415

(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】

	(単位:億円)				(参考)	(単位:億円)			
	2025年6月末					2024年6月末			
	時価	評価差額				時価	評価差額		
		うち益	うち損				うち益	うち損	
その他有価証券	4,142	153	314	160	4,370	189	350	160	
株式	429	304	305	0	461	339	340	0	
債券	2,188	△98	0	98	2,628	△85	0	85	
その他	1,523	△52	8	61	1,280	△64	10	74	

(注)なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位:億円)				(参考)	(単位:億円)			
	2025年6月末					2024年6月末			
	帳簿価額	含み損益				帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損				うち益	うち損	
満期保有目的の債券	1,181	△72	0	72	738	△32	0	32	
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	

(4) 自己資本比率（国内基準）【単体】【連結】

2025年6月末における銀行単体の自己資本比率は、前年同期比0.73ポイント上昇し9.30%となりました。また、連結の自己資本比率も同0.63ポイント上昇し9.30%となっております。

【単体】

(単位:百万円)

(参考) (単位:百万円)

	2025年6月末	2024年6月末	前年同期比	2025年3月末
①自己資本比率(%)	9.30	8.57	0.73	9.18
②コア資本に係る基礎項目	162,195	156,808	5,386	159,165
③コア資本に係る調整項目	1,640	1,705	△64	1,764
④自己資本 ②－③	160,554	155,103	5,451	157,400
⑤リスクアセット	1,725,606	1,808,724	△83,117	1,712,922

【連結】

(単位:百万円)

(参考) (単位:百万円)

	2025年6月末	2024年6月末	前年同期比	2025年3月末
①自己資本比率(%)	9.30	8.67	0.63	9.19
②コア資本に係る基礎項目	164,716	160,887	3,829	161,698
③コア資本に係る調整項目	2,318	2,732	△413	2,368
④自己資本 ②－③	162,398	158,154	4,243	159,330
⑤リスクアセット	1,745,445	1,823,363	△77,917	1,732,100

(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

金融再生法に基づく不良債権額は、前年同期比14億円減少の410億円となりました。また、総与信残高に占める不良債権額の割合（不良債権比率）は、同0.09ポイント低下し1.66%となっております。

今後とも地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートし、恒久的な金融円滑化に取り組んでまいります。

(単位:億円)

(参考) (単位:億円)

	2025年6月末	2024年6月末	前年同期比	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36	51	△14	30
危険債権	309	318	△8	338
要管理債権	64	56	7	42
うち三月以上延滞債権	2	0	2	0
うち貸出条件緩和債権	61	55	5	41
合計 ①	410	425	△14	411
正常債権	24,226	23,728	497	24,089
総与信残高 ②	24,636	24,153	482	24,501
不良債権比率(%) ①／②	1.66	1.76	△0.09	1.67

以上